

2016
1月号

発行/埼玉県グラウンド・ゴルフ協会
発行責任者/石井健治

“彩の国”
さいたま

Vol. 49



グラウンド・ゴルフだより

事務局/〒347-0105 埼玉県加須市騎西33-7 藤田幸作 方
TEL・FAX 0480-73-5074

平成28年を迎えて



埼玉県G・G協会
会長
石井健治

新年、明けましておめでとございます。
皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成27年は、会員の皆様の温かいご支援ご協力によりまして、計画した事業はすべて実施することができました。
改めて厚く御礼申し上げます。

平成27年は役員・委員が、会員の皆様から信頼される協会のづくりに取り組んで参りました。

まず、協会運営の基本となる規約・規程類について、みんなが見やすい〃を目標に内容の見直しと体系化を図りました。
又、役員・委員ならびに会員の皆様には、規約・規程、ルールブックに基づいた行動をお願いするとともに、上部団体の日本体育協会が提唱するフェアプレー宣言「あくしゅ」「あいさつ」「ありがとう」を協会活動の一環として取り入れて参りました。

平成28年、新しい年がスタートしました。

私たち協会は平成27年の活動を基軸に、喫緊の課題であります高齢化問題を取り入れ、次の事項を重点に活動を展開したいと思います。

会員、皆様のご理解とご協力をお願いします。

1. グラウンド・ゴルフの普及活動による会員登録数13000人の達成

会員登録数は、平成24年度が13415名、3年後の平成27年度は12654名と761名の減少で、年々、歯止めがかからない状況が続いています。

役員・委員はこの実状を認識し、会員増強活動を第一優先に取り組みます。

その具体的内容は次のとおりです。

(1) 研修会の実施(啓蒙)

- ① 理事及び評議員の研修会の実施
- ② 専門委員の研修会
- ③ 事務局長会議の開催
- ④ 未加盟団体加盟教宣の実施
- ⑤ 未加盟団体に役員訪問

(2) 県議自民党懇話会との活動強化

(3) 高齢化対応(普及)

- ① 高齢化対応の大会運営
- ② 参加しやすい大会費
- ③ 循環バス等による足の確保
- ④ ジュニア及び3世代活動の実施
- ⑤ 3世代大会の検討

(4) グラウンド・ゴルフのPRの実施

(5) コストの節減

協会経営は、会員の減少により会費に依じた運営が必要となり、次の事項を実施します。

- (1) 必要経費の5%の削減
- (2) 創意・工夫した費用の構築
- (3) 派遣費用の見直し
- (4) 大会経費の見直し
- (5) 事務費等の見直し

3. IT教育の実施

- (1) メールングリストの拡充
 - ① 未加入者登録と登録者の再教育
 - ② 理事登録者啓蒙の実施
- (2) 文書管理システムの確立

結びに、会員の皆様とご家族のご健康ご多幸を心からお祈り申し上げます。